

早稲田商学第 460 号
2021年3月

消 息

佐々木宏夫先生をお送りするにあたって

佐々木宏夫先生は選択定年をとられ、本年3月末日をもって退職されます。先生のご退職にあたって、早稲田商学同攻会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

佐々木先生は信州大学理学部数学科をご卒業ののち、一橋大学大学院経済学研究科修士課程、ロチェスター大学大学院経済学研究科博士課程に進まれました。一橋大学では二階堂副包教授、ロチェスター大学ではポール・ローマー教授（ノーベル経済学賞受賞者）のもとで学ぶ機会に恵まれました。名古屋市立大学経済学部助教授を経て、1993年4月早稲田大学商学部助教授として嘱任されました。その後、96年教授に昇任され、28年の長きにわたって商学部および会計研究科において研究・教育の時間を過ごされました。ゲーム理論の分野では我が国を代表する研究者であり、国際的な研究業績を残され、早稲田における経済学研究の水準を高めた立役者です。テキストをはじめとする多くの著作の執筆にも取り組まれました。また、大学院商学研究科、基幹理工学研究科において優秀な研究者の養成・輩出にも努め、教育面における功績も特筆すべきものです。研究・教育面の詳細については高瀬浩一先生による消息をご参照ください。

佐々木先生は開設準備副委員長として大学院会計研究科の礎を築かれるとともに、2010年9月から2016年9月までの6年間、会計研究科長として研究科の運営・管理にあたられました。会計学者ではなく、経済学者が専門職大学院である会計研究科長を務める意義は大きく、従来とは異なる経済学を基盤とする発想から会計研究科の発展を支えられました。同時期は副学術院長として、恩蔵直人・嶋村和恵両学術院長を補佐する立場にもありました。

1997年7月から1999年6月までの間、大蔵省に外向となり、大臣官房専門調査官、財政金融研究所主任研究官を務められました。経済の理論と実際という視点から先生の研究領域が広がったものと推察します。早稲田大学商学部は創設時から「学理と実際」を基礎とする商学教育、商学研究をめざしていますが、先生はそれを実践されたといっ

でも過言ではないでしょう。先生はよく「早稲田が大好き」と仰いますが、その背景には学風の合致もあるのではないかと勝手に考えています。2018年6月からはアステラス製薬株式会社社外取締役を兼職され、会計研究科の運営から得られた知見を会社組織の中でも活かされているようです。

私が先生に初めてお会いしたのは先生の着任直後のことです。当時、私は助手でしたが、ご指導をいただいていた国際経済学の泰斗、故松永嘉夫教授（名古屋市立大学名誉教授）と前任校が同じというご縁で松永先生から食事に誘っていただいたことがきっかけです。ロチェスターでのこと、研究のことなどさまざまなお話をうかがった記憶があります。私が専任教員になってからは、『入門マクロ経済学』、『入門ミクロ経済学』、『入門ビジネス・エコノミクス』、『ビジネスのための経済学入門』（以上、中央経済社）で共著者としてご一緒し、大きな刺激を受けたことが思い出となっています。

先生は公平や正義を重んじる信念の方ですが、学術院や学部の運営にあたって、時として先生と意見が合わないことがありました。私が教務主任時代、提案に対して反対の意見表明をされることが何度ありました。先生ご自身は反対の自説を曲げないものの、議事録に反対の意見があったことを残すことで、実質的に提案を認めていただくということがありました。それぞれ違う立場にありながら、議論を経るうちに先生との関係はより深くなり、いつしか私は先生を信頼し、相談に乗っていただくことになりました。逆に先生は私を理解してくださったのだらうと思っています。事実、ある方から「佐々木さんは横山さんのことを盟友と言っているよ」と聞いたとき、とてもうれしく喜びました。この思いはいまも変わりません。

先生から「選択定年をとろうと思う」とお聞きしたとき、私は強く慰留したのですが、それが研究中心の生活を送りたいという理由であることを知り、研究者佐々木宏夫先生の時間を邪魔してはいけないとの考えに至りました。ミクロネシアでの調査など残された研究が進展することをお祈りするばかりです。先生は大森郁夫教授のご定年退職後、「経済学史」の授業を担当されています。最先端の経済学からマルクス経済学まで、先生の学識の深さは誰もが知るところですが、今後もしばらくは非常勤講師として授業をご担当いただく予定です。いずれ先生ご自身の「経済学史」をぜひ世に問うていただきたいものと考えています。

今後、先生は研究のみならず、趣味とされるスキューバダイビングも楽しまれること

でしょう。いつまでもご健康に留意され、お元気に過ごされることを祈念いたします。先生の早稲田大学とりわけ商学部・会計研究科に対するご貢献に心から感謝を申し上げます。

佐々木先生，長きにわたり，ありがとうございました。

早稲田大学商学学術院長

早稲田商学同攻会会長

横山 将義